

平成 27 年度 胎内市算数部 活動報告

部長 平山 加奈子

1 研究主題

授業について教材研究や情報交換及び授業実践を通して指導力の向上と小中連携を図る。

2 研究の概要

- ・ 各個人が実践した教材研究や授業の情報交換を行う。
- ・ 授業参観を通して教材についての理解を深め指導力の向上を図る。

3 研究の実際

- (1) 第 1 回部会 「事業計画の立案」 会場 胎内小学校
- (2) 第 2 回部会 「指導案説明会及び教材研究会」会場 胎内小学校

① 教材研究会

- ・ 胎内市共通で実施されている「学習過程」について、日々の授業から難しいと感じていることや有効だと思われる手立てについてレポートをもとにグループで情報交換を行った。
- ・ 各校共通で課題だと感じている「文章問題の指導」について、有効だと思われる手立てと指導方法の課題について情報交換を行った。指導で気を付けたい点は以下の通りである。
「言語と式をつなぐ指導」「学習過程の共通理解」「公式につながる言葉の式の指導」

② 指導案説明会

- ・ 9月24日に実施される授業研究会の指導案について説明をした。小学校の学習内容との関連や、中学校での指導、当日の授業の概要について説明があった。この説明を受けて、第3回の部会で参観する授業の概要を確認した。

- (3) 第 3 回部会 「授業研究会」 会場 中条中学校

- ① 指導者 下越教育事務所 指導主事 野澤 一吉 様
- ② 授業者 石井 秀和 教諭
- ③ 単元名 2次方程式（3年）
- ④ ねらい



- ・ 図や表、式を用いて自分の考えをより数学的な表現に直すことができる。
- ・ 文章を読み取り、2次方程式を作ることができる。

⑤ 協議会の概要と指導内容

身近な素材を扱い興味を引く課題の提示に工夫があった。数値から文字への移行がうまくいかない生徒が多くみられたので、交流場面を活用し言語活動を充実させていく必要がある。

解決の見通しをもたせるモデル図を提示することが有効に働く。教科書の中にある見えない意図（時系列で示されるもの等）をモデルとして扱うことが大切である。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・ 教材研究会では、日々の授業をもとにしたことで、課題と手立てについて学年、校種を超えた情報交換が行えた。特に小学校、中学校のそれぞれの実態や接続、共通の課題について情報交換が行えたことは有意義であった。
- ・ 授業研究会では、考えの交流場面を通して課題解決に向かう生徒の姿を公開していただいた。課題と活動の関連性について理解を深めることができた。

(2) 課題

- ・ 胎内市の学習過程について共通理解を深め、情報交換や意見交換を通して小中の連携を進めていく必要がある。